

平成28年度 11月号



新座二中だより

新座市立第二中学校
新座市野火止 7-17-10
電話 048-477-1212

<http://www.c-niiza.ed.jp/j-daini/>

自分らしい生き方を実現する子どもをはぐくみます

校長 田村 和昭

進路教育・キャリア教育を通して

今、3年生は卒業後の進路選択について最終段階を迎えようとしています。子ども自身の人生設計の第一歩に、学校としても最大限の支援を行ってまいります。



さて、子どもたちが自立してゆく現代社会は、スマートフォンなどの普及に伴い、情報技術（ICT）を利用する時間は加速度的に増加しています。情報化が進展し身近に様々な情報が氾濫し、あらゆる分野の多様な情報に触れることが容易になってきているのです。一方で、視覚的な情報と言葉との結びつきが希薄になり、知覚した情報の意味を吟味して読み解くことが少なくなっているのではないかと指摘もあります。

さらに、現在の子どもの65%は将来、今は存在していない職業に就く（キャン・デビッドソンニューヨーク市立大学教授）との予測や、今後10年～20年程度で、半数近くの仕事が自動化される可能性が高い（マイケル・オズボーンオックスフォード大学准教授）などの予測があります。

また、2045年には人工知能が人類を越える「シンギュラリティ」に到達するという指摘もあるのです。

※「シンギュラリティ」とは、人工知能が人間の能力を超えることで起こる出来事とされ、テクノロジーが急速に変化し、それにより甚大な影響をもたらされ、人間の生活が後戻りできないほどに変容してしまうとする未来予測のこと

しかし、時代の流れに吞まれない、普遍的で大切にすべきことが教育には求められています。

子どもたちが将来、社会的・職業的に自立し、社会の中で自分の役割を果たしながら、自分らしい生き方を実現することです。

内閣府が実施した「平成25年小学生・中学生の意識調査」によれば、「人の役に立つ人間になりたい」という項目について、「**そう思う**」が75.6%、「**どちらかというそう思う**」が21.9%となっています。前回調査に比べて増加傾向にあり、特に「**そう思う**」の割合は約20ポイント増加しています。

人は働いて社会貢献する

人によって働く意味、目的、理由は違うと思います。しかし、働くことはお金を得るだけでなく、社会とかかわりをもったり、自己実現（個性を生かす）をしたり、社会貢献をしたりし、自分の生きた証を示すことなのではないでしょうか。時代は変わっても、私はそうあって欲しいと思います。

学校の特色や地域の実情を踏まえつつ、子どもたちの発達の段階にふさわしい進路教育・キャリア教育を推進してまいります。